

福山平成大学



公開講座

福山城築城から400年、
現在そして未来を考える

座

第1講座 9月12日(木)

未来に伝えたい
我が国の福祉思想

中嶋 裕子 准教授
(福祉学科)

第2講座 9月19日(木)

我が国の体育/
スポーツの歴史と文化

松田 広 准教授
(健康スポーツ科学科)

第3講座 9月26日(木)

英語教育の変革期

田辺 尚子 教授
(こども学科)

第4講座 10月3日(木)

広島の見護 今と昔

才野原 照子 教授
(看護学科)

第5講座 10月10日(木)

経営学における「人」の重要性

江口 圭一 教授
(経営学科)

2019年9月12日(木) ~ 10月10日(木)

福山平成大学7号館大講義室

午後6時30分~午後8時00分

申込期間：2019年8月1日(木)~9月6日(金)

申込方法：受講申込ハガキに所要事項を記入の上、郵送又は持参

受講料：無料

定員：250人

5講座中、4講座以上の受講者に**受講証書**を授与

問い合わせ先：庶務課

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

電話：084-972-5001

FAX：084-972-7771

主催：福山平成大学

後援：福山市

福山市教育委員会

初代藩主水野勝成入封400年記念



「福山城築城から 400 年、現在そして未来を考える」

地域の歴史は、未来への選択肢の軌跡です

様々な分野の歴史を紐解くことで見えてくる真実や未来について、そのヒントを探ります

第 1 回 9 月 12 日 「未来に伝えたい 我が国の福祉思想」 中嶋 裕子 准教授（福祉学科）

「共生社会の実現」がさまざまな場面で謳われています。しかし、これは新たな動きというわけではありません。私たちは古来より「共にある」こと、「共に生きる」ことを重んじ、生きとし生けるものへの限りない愛と畏敬の念を育んできました。この度は「共生」という視点に立って未来に引き継ぎたい思想を歴史から学びたいと思います。日本の神話（古事記・日本書紀）に登場する神様、一寸法師やこぶとり爺さんなどの説話、七福神や福助さんを障がいを持つという視点から解釈し、お話しします。また、福山の各地に残る福祉建造物（砂留、義倉）や郷土の偉人についても言及し、皆様と共にしあわせに生きられる社会の実現について考えたいと思います。

第 2 回 9 月 19 日 「我が国の体育/スポーツの歴史と文化」 松田 広 准教授（健康スポーツ科学科）

18 世紀中頃(明治初期)から 19 世紀末までの近代から現代における、体育・スポーツがどのように転換してきたのかの動向を示し、スポーツ教育の視点から、「技術・戦術・ルール of 歴史的変容」「スポーツと政治/経済」「現代スポーツの課題から(スポーツ倫理/スポーツとジェンダー)」などをご紹介します。また、福山市における明治中期からの「学校体育の展開(運動会/体育大会の成り立ち)」、さらに、福山市からの「極東選手権競技大会」「オリンピック競技大会」の出場選手や活躍についてもご紹介したいと思います。

第 3 回 9 月 26 日 「英語教育の変革期」 田辺 尚子 教授（こども学科）

グローバル化の加速に伴い、日本でもいよいよ 2020 年度から小学校 3 年生からの英語教育が必修化されます。「日本人は英語が苦手」という声をよく耳にします。また、「英語を少しは読めるけれど、話せない」と言う人もたくさんいます。私たち日本人が英語に対して自信をもてるようになるためには、どのような英語教育もしくは英語学習が効果的なのでしょう。さらに、「なぜ日本人は英語が苦手なのか」という視点から考えてみると、英語教育だけの問題ではないことがわかります。日本の英語教育の変革期にあたって、本講座をきっかけに、みなさん自身の英語とのつき合い方を再考してみませんか。そして、福山出身の偉大な英文学者、随筆家である福原麟太郎先生（福山市名誉市民）についても、郷土の誇りとしてご紹介したいと思います。

第 4 回 10 月 3 日 「広島看護 今と昔」 才野原 照子 教授（看護学科）

1945 年 8 月 6 日広島に原爆が投下され、爆心地から 1.5km の広島陸軍赤十字病院で被ばくし、そのまま 10 日間医療活動に従事したナースがいます。彼女が書き残した手記を最初にみんなで読みます。看護の歴史を語る時、その横には常に、疾病や災害、戦争や貧困などがありました。時代に翻弄されながらも生命を賭して健康と命を守った先人たちがいました。焼土から立ち上がった広島市のナースが中心となって職能団体を創設します。GHQ の支援もあり看護の基盤が築かれます。社会の変化と医療の進歩発展を受け看護は今日多様な発展を遂げました。福山に看護系大学ができて 10 年、地域に根差した活動が進んでいます。今回、歴史の振り返りから近未来へのヒントを得たいと思います。

第 5 回 10 月 10 日 「経営学における「人」の重要性」 江口 圭一 教授（経営学科）

戦国時代の武将である武田信玄が残したとされる有名な言葉に、「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」というものがあります。たとえ立派な城があっても、それを支える人の力がないと上手に使いこなせないし、信頼できる人の集まりは石垣や堀にも勝る力を持つと考えていたようです。経営学においても、「人（ヒト）」は「モノ」「カネ」「情報」とともに重要な経営資源とされています。しかし、経営学において「人（ヒト）」の重要性が目目されるようになったのは比較的最近のことです。一方、世界で初めての「会社」といわれる組織が正式に設立されたのは、福山城が築城された頃、つまり、ちょうど 400 年ほど前の話になります。これが、欧州諸国によって相次いで設立された東インド会社です。この講座では、経営学の歴史を振り返りながら、経営学において「人（ヒト）」が「会社」の中で、どのように捉えられてきたのかを考えていきます。